

第3章 参考

1 計画策定の背景

(1) 静岡県健康寿命

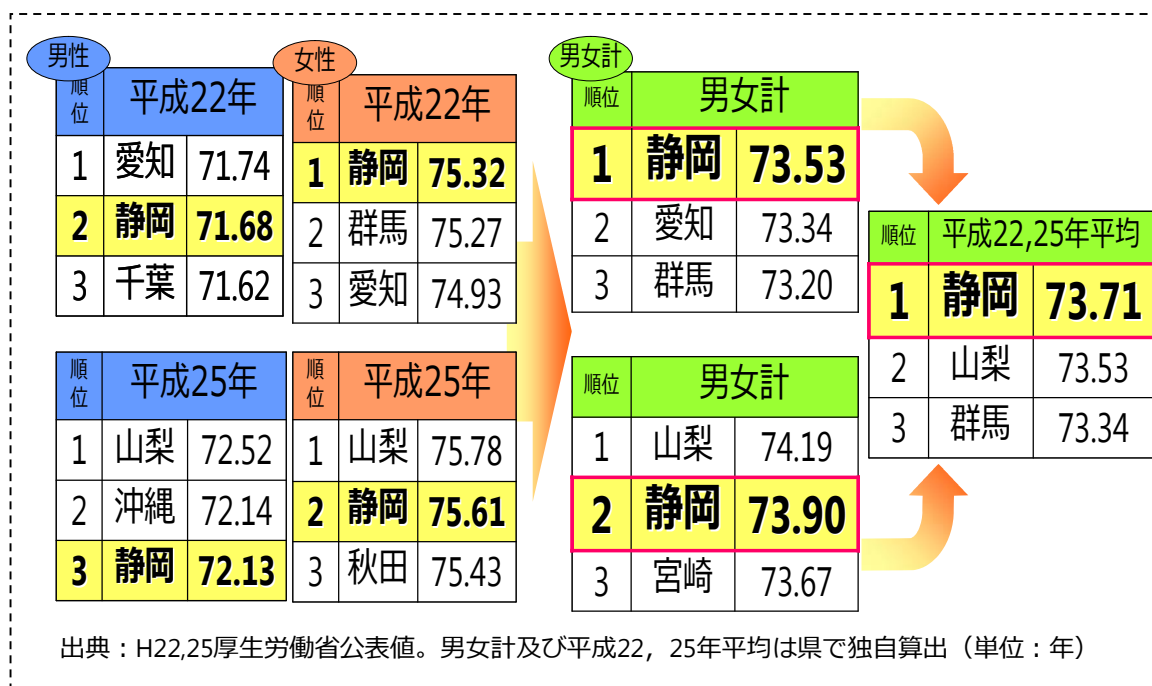
ア 平均寿命の状況

静岡県の平均寿命（平成22年）は、男性80.03歳、女性86.21歳であり、都道府県別では男性が全国10位、女性が全国32位となっています（健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班のデータによる）。なお、同年の日本人の平均寿命（男性79.64歳、女性86.39歳）は、世界一です。

イ 健康寿命の状況

静岡県の健康寿命は、平成22年（男性71.68歳、女性75.32歳）、平成25年（男性72.13歳、女性75.61歳）とも都道府県別にみて全国でもベスト3に入っています。一方、日本の健康寿命（男性71.1歳、女性75.6歳）は諸外国と比較してトップクラスとされています（平成27年）。このことから、静岡県は世界でも健康寿命が非常に長い地域（県）であるといえます。

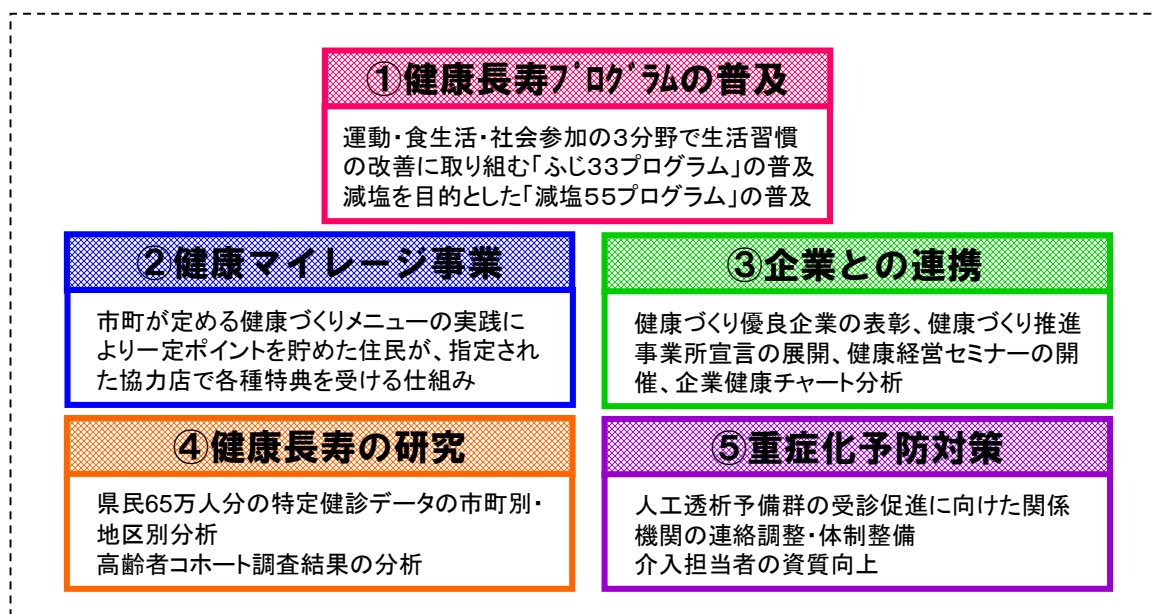
【静岡県の健康寿命】



(2) 静岡県健康寿命延伸施策への取組 ア 「ふじのくに健康長寿プロジェクト」

更なる健康長寿を目指すため、「ふじのくに健康長寿プロジェクト」として、①健康長寿プログラムの普及、②健康マイレージ事業、③企業との連携、④健康長寿の研究、⑤重症化予防対策の5本の柱に基づいて様々な取組を進めています。特に、特定健診データの分析結果の見える化や健康づくりマイレージ事業の実施により、実態として多数を占めている健康づくりへの「無関心層」に静岡県全体で働きかけ、無関心層の理解と行動を促し、健康寿命の更なる延伸を図っています。

【ふじのくに健康長寿プロジェクト】



イ 「ふじのくに型人生区分」

静岡県では独自に定義した「ふじのくに型人生区分」を提唱し、現在の女性の健康寿命相当年齢である76歳までを「壮年」とし、社会で元気に活躍する世代と位置付けています。特に、従来の区分では高齢者に含まれている「壮年熟期（66～76歳）」の県民に対しては、様々な機会や分野において、現役世代としてもっと活躍していただきたいというメッセージを伝え、この世代に属する県民の意識を「支えられる」側から「支える」側へ転換する機運の醸成を図っています。